

耐力壁の面内せん断試験

- ・耐力壁の面内せん断試験は、幅 4.0m×高さ 3.2m、水平加力 200kN まで可能です。(写真1)
- ・耐力壁とは、柱、土台、張り、筋かい、間柱、面材料等で構成され、地震や台風による水平力に抵抗し住宅の変形や損傷を軽減する役割を担っています。
- ・耐力壁には、面材張り耐力壁(写真2)、筋かい壁、その他木ずり壁等があります。
- ・水平構面、ラーメンフレーム等の面内せん断試験も行っています。これは床置型で奥行 6m×幅 12m、水平加力 200kN まで可能です。(写真3)。
- ・面内せん断試験の結果は、壁倍率(最大 5.0)という指標で表されます。この指標は木造住宅の設計などに用いられます。



写真1 耐力壁の面内せん断試験

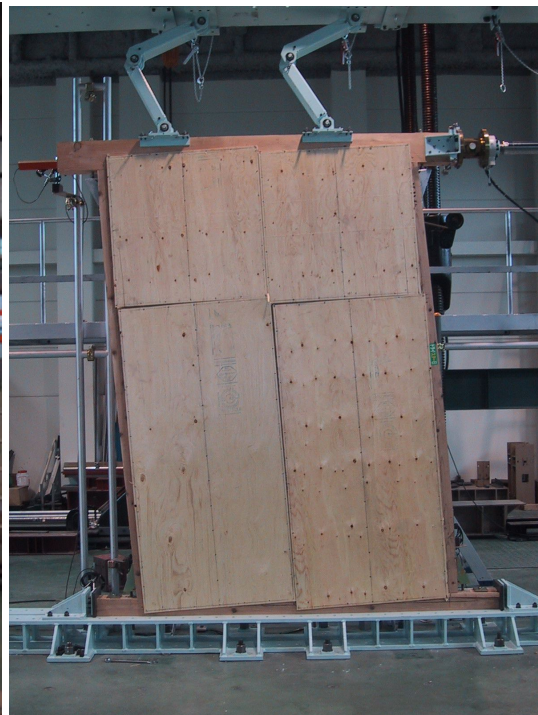


写真2 面材張り耐力壁

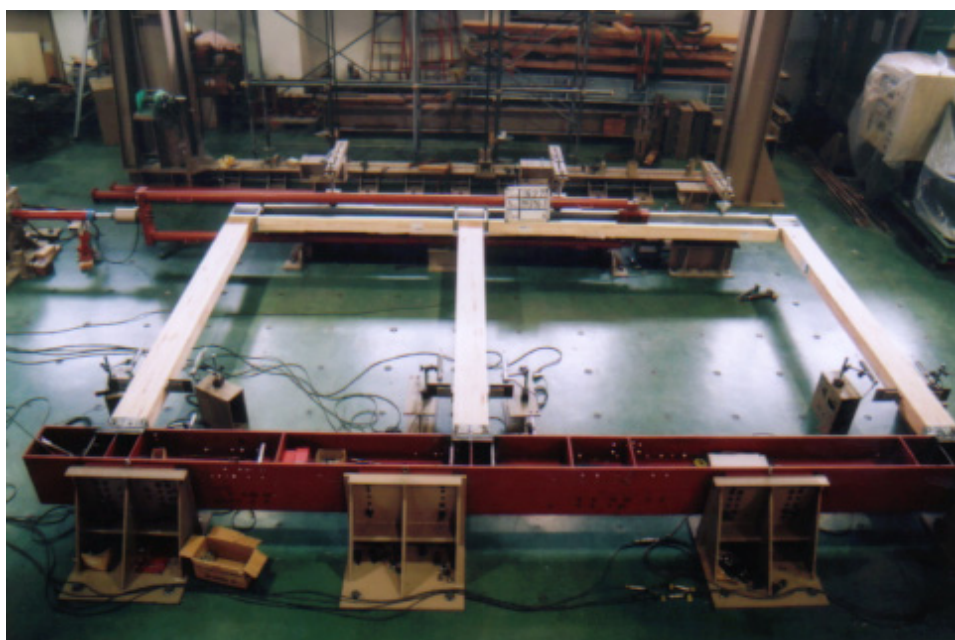


写真3 ラーメンフレームの面内せん断試験